

## 目次

〔今週号は 2022 年 7 月 1 日時点の情報を基に作成しています〕

マクロ経済コラム：労働力不足の恒常化	1
日本株銘柄情報：クラウドワークス(3900)	2
日本株銘柄情報：NexTone(7094)	3

## 労働力不足の恒常化

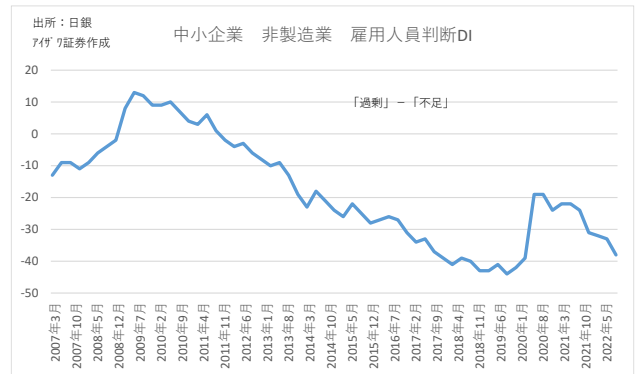
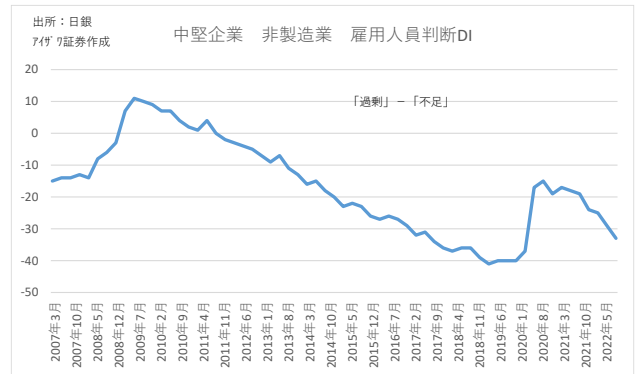
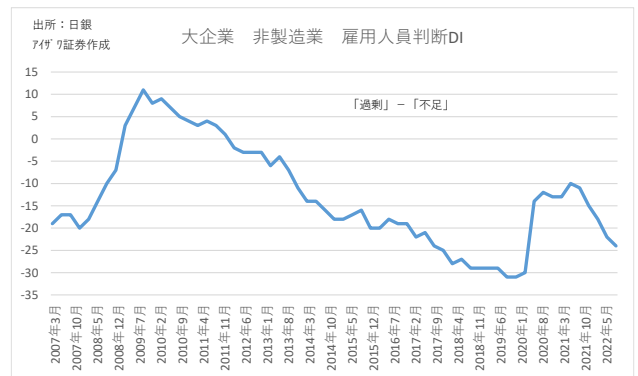
笹木 義次

企業の労働力不足感が恒常化しています。日銀短観 6 月調査の雇用人員判断 DI によれば、企業の規模に関係なく、非製造業を中心に「不足」超過となっています。

雇用人員判断 DI の「不足」超過の水準は、コロナ禍前の水準に迫るものとなっています。さらに、先行きは、「不足」超過が拡大する見通しとなっています。

雇用人員判断 DI は循環的な要因によって変動する側面もありますが、恒常的に「不足」超過となっていることから、構造要因が強まっていると考えられます。

このような企業の労働力不足の状況は、HR(人材関連サービス)分野の企業にとっては、事業機会になると見えています。また、省人化や合理化のための設備投資ニーズは意外と根強いものになると見えています。



# クラウドワークス (3900)

笹木 義次

## 株価指標

株価 (2022/7/1) 1,266.0 円  
 売買単位 100株  
 市場 東証グロース  
 時価総額 193 億円

## 事業環境

企業にとって、やや恒常的な人手不足感から、外部の労働力を活用するニーズが高まっています。クラウドワークスにとって、こうした状況は、プラスの事業環境になっていると筆者は考えています。

クラウドワークスはオンライン人材マッチング事業を運営しています。2022年9月期上半期末のクライアント79.5万社、クラウドワーカー495万人が登録されている日本最大のオンライン人材マッチングのプラットフォームとなっています。

## 2022年9月期上半期業績実績

クラウドワークスの2022年9月期上半期の業績は、売上高が50億97百万円と前年比で34.7%の増収に、営業利益は6億24百万円と前年比で2.17倍の増益となりました。今期から連結決算となったことから、前年比較は前年同期の単体業績との簡便的な比較になっています。営業利益は、売上高の増収効果で、増益となりました。売上高の増収は、主力のマッチング事業が増収となった事が寄与しました。

主力事業のマッチング事業は、売上高が50億円と前年比で33.9%の増収に、セグメント利益は7億8百万円と前年同期比で1.85倍の増益となりました。流通取引総額の増加とテイクレートの上昇で、増収増益となりました。

## <業績の推移>

決算期	売上	営業利益	経常利益	純利益	1株利益	1株配当
2020/9	5,458	-364	-331	-105	-6.9	0.0
2021/9	7,769	575	645	622	40.8	0.0
2022/9計	10,000	750	NA	NA	NA	0.0

単位:百万円 (1株利益、1株配当は円) 計画は会社計画によります。  
 (注意)2020年9月期は連結決算、2021年9月期は単体決算です。2022年9月期は連結決算です。2020年9月期に受託事業等から撤退しており、過去遡及しています。

## <投資指標>

連結	NA	倍
今期予想PER	NA	倍
PBR	4.63	倍
予想配当利回り	0.00	%

流通取引総額は93億20百万円と前年比で24.0%の増加となりました。領域別では、エンジニア・デザイナー領域とweb制作・外注領域の流通取引総額の増加で、全体の流通取引総額の増加に寄与しました。

## 今下期は投資支出増

クラウドワークスでは、2022年9月期の業績は、売上高が100億円と前年比で24.1%の増収に、営業利益は7億50百万円と前年比で24.9%の増益を計画しています。上半期の営業利益が6億24百万円と通期の営業利益計画対して、83.2%と高い進捗率だったにも関わらず、通期の業績計画は据置いています。今下期には投資支出を増加させる計画となっているからです。

筆者はクラウドワークスの2022年9月期業績は、売上高が100億円と前年比で24.1%の増収を、営業利益は8億50百万円と前年比で41.6%の増益になると予測しています。クラウドワークスが予定している投資支出の一部は未達になる可能性があると考えているからです。

3900 クラウドワークス 東証 週足 20/12/21~22/6/27

目付:22/07/01 高:1868 低:1376 安:1250 現値:1266.84 出来高:184.1

W:100% 移動平均線(10):1251 (20):1182.83 (60):1108.19

S1:出来高[10]-----[26].....V:1178.9 MA18:1066.188 MA26:1057.173



© QUICK Corp. All rights reserved.

出所: AstraManager よりアイザワ証券作成

本資料のご利用にあたり、お客様にご確認いただきたい事項を、本資料の最終ページに記載させていただきました。ご確認の程、よろしくお願いいたします。

## NexTone (7094)

笹木 義次

## 株価指標

株価 (2022/7/1) 3,100.0 円  
 売買単位 100株  
 市場 東証グロース  
 時価総額 303 億円

## 事業内容

NexTone は、音楽著作権の管理を行っています。音楽著作権の利用者から使用料を徴収して、音楽著作権の所有者へ分配しています。また、音楽著作権の利用促進にも取り組んでいます。著作権管理業務、デジタルコンテンツディストリビューション業務(DD 業務)、キャッシング事業、その他から構成されています。

## 2022年3月期業績実績

NexTone の 2022 年 3 月期の業績は、売上高が 74 億 89 百万円と前年比で 22.3%の増収に、営業利益は 7 億 8 百万円と前年比で 31.3%の増益となりました。実績は期初計画を下回りました。実績は計画を下回りましたが、新譜リリースが鈍化する中で、NexTone の強みが発揮された決算だったと筆者は見ています。

## 業務別業績

著作権管理業務の売上高は 8 億 23 百万円と前年比で 15.4%の増収となりました。著作権の徴収額(取扱高)が 84 億 85 百万円と前年比で 10.2%の増加となったためです。著作権の徴収額では、インタラクティブ配信と放送等の徴収額が増加し、全体の増加に寄与しました。

DD 業務の売上高は 60 億 59 百万円と前年比で 29.8%の増収となりました。取扱い原盤の増加や利用促進のためのプロモーションを実施した事から、DD 業務の売上高は増収となりました。また、動画投稿サービスでの広告収入

## &lt;業績の推移&gt;

決算期	売上	営業利益	経常利益	純利益	1株利益	1株配当
2021/3	6,122	539	540	376	40.7	0.0
2022/3	7,489	708	713	482	50.0	0.0
2023/3計	9,560	890	890	540	56.0	0.0

単位:百万円 (1株利益、1株配当は円) 計画は会社計画によります。

## &lt;投資指標&gt;

連結	
今期予想PER	55.5 倍
PBR	10.26 倍
予想配当利回り	0.00 %

の獲得など、収益化の促進も DD 業務の増収に寄与しました。

## 2023年3月期業績計画

NexTone では、2023 年 3 月期の業績は、売上高が 95 億 60 百万円と前年比で 27.6%の増収を、営業利益は 8 億 90 百万円と前年比で 25.6%の増益を計画しています。2022 年は有力アーティストが周年イベントを迎える事から、コロナ禍で低調だった新譜リリースの回復を見込んでいます。2022 年 4 月から演奏権等に参入します。それを契機に、これまで苦手だったアイドルの管理楽曲の獲得も視野に入れるとしています。

筆者は NexTone の 2023 年 3 月期の業績は、売上高は 97 億 75 百万円と前年比で 30.5%の増収を、営業利益は 9 億 90 百万円と前年比で 39.8%の増益になると予測しています。著作権管理業務では、インタラクティブ配信と放送等の徴収額が引き続き増加すると見ています。また、録音等の徴収額の回復を見込んでいます。DD 業務は高い伸びが継続すると期待しています。こうした売上高の増収効果で、営業利益の増益を予測しています。

E7094 銘柄 NexTone 東証 選定 20/12/21~22/6/27  
 日付:22/07/01 始:3200 高:3230 安:3080 開値:3100 -150 出来高:119.9  
 MC:0%約定:単純移動平均[18]-----[26]-----[26]-----MA18:3179.81 MA26:3022.88  
 SI:出来高[18]-----[26]-----V:573.9 MA18:570.464 MA26:597.283



(C) QUICK Corp. All rights reserved. 出所: AstraManager よりアイザワ証券作成

本資料のご利用にあたり、お客様にご確認いただきたい事項を、本資料の最終ページに記載させていただきました。ご確認の程、よろしくお願いいたします。

## 金融商品取引法に基づく表示事項

### ■本資料をお客様にご提供する金融商品取引業者名等

商号等：アイザワ証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第 3283 号

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人 日本投資顧問業協会

当社が契約する特定第一種金融商品取引業務に係る指定紛争解決機関：

特定非営利活動法人 証券・金融商品あっせん相談センター（略称：FINMAC）

### 株式の主なリスク

株式は株価の変動等により、損失が生じるおそれがあります。お取引の際は、契約締結前交付書面をよくお読み下さい。

### お客様にご負担いただく手数料等について

国内株式は、取引口座に応じて以下の委託手数料（税込）をいただきます。

対面口座：約定代金に対し、最大 1.265%（最大 149,875 円、2,750 円に満たない場合は 2,750 円）

インターネット口座「ブルートレード」：インターネット発注 最大 1,650 円

コールセンター発注 約定代金が 55 万円以下の場合 1,650 円、

約定代金が 55 万円超 3,000 万円以下の場合 3,300 円

コンサルネット発注 約定代金に対し、最大 1.265%（最大 149,875 円、2,750 円に満たない場合は 2,750 円）

### 免責事項

本資料は証券投資の参考となる情報の提供を目的としたものです。投資に関する最終決定は、お客様ご自身による判断でお決めください。本資料は企業取材等に基づき作成していますが、その正確性・完全性を全面的に保証するものではありません。結論は作成時点での執筆者による予測・判断の集約であり、その後の状況変化に応じて予告なく変更することがあります。執筆担当者または弊社と本レポートの対象企業との間には、重大な利益相反の関係はありません。このレポートの権利は弊社に帰属しており、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。

LINE公式アカウント  
はじめました！

ベトナムを中心としたアジア情報  
をお届けします。

[友だち追加はこちらから！](#)



ID : @aizawa